

年度 2009 学期 後期	曜日・校時 火 2	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	英語コミュニケーション III (English Communication III)		
対象年次 2年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等)	2M14	科目分類	外国語科目(英語)
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 西原 俊明 /Eメールアドレス:t-nishi@nagasaki-u.ac.jp /研究室: /TEL:819-2095 /オフィスアワー:火曜日 14:30-15:30 それ以外は、by only appointment			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain English に関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。また、授業の一部として医学英語、特に患者との会話表現にもふれる。 授業方法: 授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養う Plain English による表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させた authentic な教材・題材を用いた訓練を行う。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。 授業到達目標: 授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。 第1回 オリエンテーション 第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1)、医者と患者の会話(1) 第3回 Voice Aerobics, 医者と患者の会話(2) 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、医者と患者の会話(3) 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、医者と患者の会話(4) 第6階 弱く発音される音、医者と患者の会話(5) 第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1)、映画による聞き取り(1)、 第8回 聞こえなくなる音、医者と患者の会話(5) 第9回 インフォメーションギャップによるペアワーク(2)、医者と患者の会話(6) 第10回 グループによるディスカッション(1)、映画による聞き取り(3) 第11回 なくなる音、医者と患者の会話(7) 第12回 ひとつになる音、インフォメーションギャップによるペアワーク(3) 第13回 つながる音、映画による聞き取り(4)、医者と患者の会話(8) 第14回 Review 第15回 まとめのテスト			
キーワード			
教科書・教材・参考書	テキスト:English for Medicine(金星堂) プリント教材		
成績評価の方法・基準等	期末試験(50%)、小テスト(40%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。 小テストは医学英語表現を対象として毎回行う。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標	英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、学部教育への橋渡しとしての医学英語にふれる。		
備考(準備学習等)	看護英語の表現を毎回小テストする。聞き取りのこつを復習すること。		